

しゃきよう おおいそ 新年号

しゃきよう
社協とは社会福祉協議会の略です

No.118 2015 Jan

社会福祉 法人 大磯町社会福祉協議会

〒255-0003
大磯町大磯1352番地の1
大磯町立福祉センターさざれ石内
電話 0463-61-9390
FAX 0463-61-7614
URL <http://www.oiso-shakyo.jp/>

高麗地区地域福祉推進委員会 活動紹介



笑顔あふれるお話し会

「10月12日のお話し会では腹話術やビンゴゲームで笑顔あふれるお話し会となりました。」

高麗地域福祉推進委員会では、永年にわたり高齢者どうしのふれあいの機会を深める「お話し会」などを実施企画しています。

地域全体では、長寿会や子ども会育成会等各種団体の活性化に努め、お互いに支え合う心構えを広げていくことを大切に活動しています。

年頭のごあいさつ

大磯町社会福祉協議会

会長 見玉 佐安子



新年あけましておめでとうございます。
輝かしい新春

をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より、社会福祉協議会のさまざまな事業の推進にあたり、ご支援、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨今は各地でさまざまな災害や事件

が起こり、人と人との絆の大切さを強く感じております。それに伴い、地域

住民がともに助け合い生活していく地域福祉の必要性が求められているとい

うことも実感しております。

高齢者から子どもたちまで、安心して暮らせる町づくりの実現へ向けて、

大磯町社協では、「さざえあい、こころのふれあいまちづくり」を目指し、役

職員一同、本年も一層努力してまいります。皆様のご支援ご協力を賜ります

よう宜しくお願い申し上げます。

最後になりますが、地域の皆さまがご多幸の一年になりますよう、ご健勝

と更なるご活躍を祈願いたします。

「第25回 大磯町社会福祉大会」が 開催されました

福祉作文コンクール入選者

町内の小中学生54名が応募。8名が入選に輝きました。

小学生の部



平成26年度神奈川県福祉作文コンクールで二宮珠生さんの「私を忘れた大ばあちゃん」が日本放送協会横浜放送局長賞を受賞されました。

(敬称略)

賞および作品名	氏名	学校名
大磯町社会福祉協議会長賞 『私を忘れた大ばあちゃん』	二宮 珠生	国府小学校 4年
神奈川県共同募金会大磯町支会長賞 『福祉について』	土屋 優希	大磯小学校 5年
佳作 『おじいちゃんをたすけたい』	茂木 海帆	大磯小学校 2年
佳作 『身近にある社会福祉』	雨宮 康太	大磯小学校 5年
佳作 『ありがとう。』	吉川 知花	国府小学校 5年

中学生の部

(敬称略)

賞および作品名	氏名	学校名
大磯町社会福祉協議会長賞 『「献血の絵」に込める思い』	今井 未佳	国府中学校 2年
神奈川県共同募金会大磯町支会長賞 『すべての人が住みやすい社会とは』	山本 真之助	大磯中学校 3年
佳作 『本当のバリアフリー』	二宮 明士	国府中学校 1年



福祉作文コンクール受賞された皆さま

10月25日(土)、第25回大磯町社会福祉大会を開催しました。式典では福祉功労者の表彰や大磯町福祉作文コンクールの受賞者の表彰が行われました。また、当日のプログラムについては、実行委員の検討のもとすすめてまいりました。今年も天候にも恵まれ、沢山の方にお越しいただき大変にぎやかな大会となりました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

福祉活動功労者の表彰と感謝

今年も、9名の表彰、ならびに6団体への感謝状贈呈をいたしました。



表彰を受けられた皆さま

表彰

(敬称略 順不同)

永年にわたり社会福祉活動の発展に寄与されました

原田 好夫・小澤 薫

永年にわたりボランティア活動を通じ社会福祉の発展に寄与されました

四十井 英子・増井 弘子・手塚 二三枝
小見 華子・峯尾 ヨシ子・佐々木 佳子
清田 照代

感謝

(敬称略 順不同)

社会福祉活動に貢献されました

東町地域福祉推進委員会
北本町地域福祉推進委員会
裡道地域福祉推進委員会
西小磯西地域福祉推進委員会
黒岩地域福祉推進委員会
西久保地域福祉推進委員会

「第25回大磯町社会福祉大会」のようす



神奈川県福祉作文コンクール(昨年度)
神奈川県社会福祉協議会会長賞受賞
浅野 遥 さん

昨年は台風で福祉大会が中止になったため、
今回朗読していただきました。



大磯小学校合唱



国府中学校吹奏楽部

アトラクションにて
素敵な演奏でした



理事による福祉寸劇
「オレオレ詐欺にご用心！」



屋外会場では出店・展示を
行いました



作文コンクール

大磯町社会福祉協議会長賞 作品紹介

私を忘れた大ばあちゃん

国府小学校 四年 二宮 珠生



「だれだっけ？」
大ばあちゃんは私の名前をついに忘れてしまいました。それでもニコニコしている大ばあちゃんが大好きです。

大ばあちゃんは九十六さいです。歩行きでやっとな自分の周りを2メートルくらい歩いていきます。ごはんのとき以外は、自分の部屋でテレビを見たり、ねていたりします。

そしていつも、手助けが必要になった自分を「やっかいものだね」とか「迷惑ばかりかけてるね」と言っていました。そんな大ばあちゃんは悲しそうな顔をしていました。外に出ることもあまりしなくなりました。トイレが間に合わなくなることや心配して出かなくなりました。

みんなで大ばあちゃんをお花見に出した時のことです。車椅子に乗せられた大ばあちゃんがいました。

「わたしは、みんなのお荷物さんだね」と。私はおこりたい気持ちになりました。どうして自分をお荷物だなんて思うのだろうと。そして、自分を悪者のように思っていることがかわいそうで、これから毎日そうやって悲しんでいくのかなと、とても心配になりました。年をとればみんな同じようになるのに。

大ばあちゃんは、少しずつ歩けるきまりが短くなっていました。トイレもせん用のものがベットのとなりを用意されました。だんだんねている時間も長くな

りました。体の変化だけではなく、何回も同じことを話したり、聞いたりするようになってきました。

そしてとうとう大ばあちゃんは私のことを忘れてしまいました。でも私を見てうれしそうにニコニコ笑って、一緒にプリンを食べてくれます。

年をとると、だんだんと物事を忘れていくのだと、お父さんから聞きました。大ばあちゃんは、体が動かなくなっていくくわさも、これからどうしようという不安も少しづつ忘れていくのだと思います。「私はやっかいものだね」という言葉も、今はあまり言わなくなりました。年をとって忘れることは、悪いことではないと、私は思うようになりました。

大ばあちゃんが幸せそうにプリンを食べているのを見て、私は「名前を忘れられてもいいや。」と思いました。百さいまであと少し。色々なことは忘れても、笑顔だけは忘れないでほしいです。

「献血の絵」に込める思い

国府中学校 二年 今井 未佳



私は幼いころ、よく献血をしに行く母に付いて行きました。母は珍しい血液型だったため、できるだけ献血に協力していました。最初は、献血がどういうものか全く知りませんでした。母から話を聞いたり、そこに貼ってあるポスターを見たりして、だんだん献血のことが分かってきました。小学校に入ると、夏休みの課題に「献血の絵」の作品募集を見つけ、私もみんなが献血に協力してくれるようなポ

スターを描きたいと思いました。その時から今日まで、私は夏休みになると「献血の絵」のポスターを描いています。

献血とは、病気やけがなどで輸血を必要としている人の命を救うため、健康な人びとが血液を無償で提供することです。医学がどんどん進んでいる現在でも、血液は薬のように人工的に作ることはできません。そのため、健康な人びとに血液を分けてもらう必要があります。現在、けがや病気などにより血液を必要としている人がたくさんいます。かれらの命を救うために、献血は大きな役割を持っています。

献血するの一番大切なのは、勇気と優しさだと思います。なぜなら、献血は強制されるものではなく、自分の意志で行うものだからです。初めて行く時は不安があり勇気がいると思うし、だれかのために役に立ちたいという思いやりの気持ちが無ければ協力はできません。献血は、みんなの善意によって成り立つものだと思います。しかし、希望する人だれでもできる訳ではありません。病気の人の元気にするために必要なのは、健康な人の血液です。よって、献血できる人も限られます。年齢や体重・血圧など基準に達していないといけません。ほかに、血液の比重や薬を服用しているか関係してきます。気持ちはあっても献血に協力できない人もたくさんいることを理解し、絶えず多くの人に協力してもらうことが大切です。

私は、「献血の絵」の表彰式に出席した時、輸血することによって病気を克服し、元気になった子供たちのビデオをみて、より献血について理解を深めました。「献血してくれた人びとのおかげで元氣

になった」と嬉しそうに話す姿を見て、血液にはすごい力があると思いました。それまで、病気から救ってくれるのは、病院や医師・看護スタッフなどの力だと思っていました。血液を提供してくれる人も、目には見えませんが、命を救ってくれるひとりだと気付きました。さらに、七十回、百回と献血を行っている人が表彰されるのを見て、こんなにたくさんの方が数多く献血に協力していることに驚き、それだけ多くの血液が毎日必要とされていることも分かりました。

現在、駅や街頭などいたるところで献血バスを見かけます。また、常設された献血ルームもあり、気軽に立ち寄って献血してもらえらるようになっています。夫がされていきます。献血ポスターも、これら献血活動を行っていくうえで大いに役立っていると思います。私はまだ献血することはできません。でもポスターを作成し、献血を呼びかけるお手伝いはできます。まだ、献血のことをよく知らない人もたくさんいると思います。そういう人びとに関心を持ってもらい、献血に足を運んでもらえるようなポスター作りを目指したいと思います。

今まだ、血液は不足しています。そして今後、少子高齢化に伴い、血液の確保がより一層困難になるのではないかと予想されています。将来、私たち世代が献血を支える中心となった時、さらに献血の輪が広がり、みんなが協力し助け合える社会になっていたら、どんなに素晴らしいでしょう。私も、献血できる時が来たら、勇気を持って協力したいです。私の血液でだれかを元気にし、笑顔にすることができたら、とてもうれしいです。

（敬称略）

全国福祉大会で

表彰を受ける

11月21日に全国社会福祉大会が日比谷公会堂で開催され、授与式が行われました。

中央共同募金会会長表彰

- 関野 恭巨さん

受賞おめでとうございます。

県福祉大会で

各種表彰を受ける

10月16日に第63回神奈川県社会福祉大会が、県立音楽堂で開催され各賞の授与式が行われました。

神奈川県知事表彰（社会福祉関係・ボランティア）

- 清野 静子さん
- 石田 寿子さん
- 岩田 全弘さん

神奈川県社会福祉協議会会長表彰

- 曾根 田純一郎さん

神奈川県社会福祉協議会会長感謝

- 河崎 里美さん
- 久保 直子さん

神奈川県共同募金会会長感謝

- 眞間 義之助さん
- 上口 政喜さん

受賞おめでとうございます。



地域福祉推進委員会の活動 紹介します!

月京地域福祉推進委員会

11月16日(日)、月京地区の子供から大人まで合わせて120人が参加し、健康と地区のふれあいのもと、「町内健康ウォーク」と「みかん狩り」を行いました。お天気も良く、みなさん楽しい一日を過ごされました。

月京地区ではその他に地区のお祭り、盆踊り、敬老会等の行事も積極的に行っています。これらの活動を通じて、健康とふれあいの輪が、地区全体に広がっています。



9月1日から12月10日まで、に次の方々から大磯町社協にご寄付をいただきました。福祉活動のために大切に使用させていただきます。

(敬称略・順不同)

【寄付金】

●えぶろんの会

●身障介助ボランティア

●ふれあいサロン

●大磯社交ダンス愛好会

●悠悠苑

●山王町商店会

合計6件 総額 68,520円

●匿名

合計1件 総額 10,000円

【寄付物品】

●マックスバリュ東海株

●マックスバリュ二宮店(車椅子)

●「媽媽厨房」から

●ミニデイスーパーふれあい

●サロン事業へ中華料理のご寄付

●匿名

合計10件(胡蝶蘭・花束、衣類、オムツ一式・タオル一式、お盆、靴、毛糸)



媽媽厨房様より



マックスバリュ東海株様より

皆様からの心温まる善意、ありがとうございます。

あ り が と う

大磯ケアセンターさざれ石 デイサービス看護師の募集

資格：正又は准看護師
内容：介護および体調管理・健康管理等
時間：①8時30分から17時15分
②8時30分から13時
③13時から17時15分
給料：時給1,600～1,800円(ただし、3カ月間の研修期間有)
勤務：月曜から金曜の間のシフト制で週1日から4日
募集期間：随時受け付けています。

社会福祉法人 大磯町社会福祉協議会

大磯町社会福祉協議会 職員募集
一般事務及び福祉業務等(若干名)

採用予定日 平成27年4月1日(試用期間あり)
要件 平成26年4月1日現在で35歳未満の方
社会福祉主事任用資格を有する方
パソコンが出来る方
普通自動車運転免許がある方
提出書類 履歴書、職員採用試験申込書
申込み期間 平成27年1月23日(消印有効)まで

※勤務内容等、詳細についてはお問合せください。
なお、ホームページでもご覧いただけます。

「賛助会員追加報告」

左記のとおり加入いただきましたので報告させていただきます。

(敬称略)

7月1日 扇合経営管理事務

10,000円(2口)

8月7日 汐彩のお宿・大内館

10,000円(2口)



『心と、からだ』笑顔のリフレッシュ交流会

参加者募集

在宅で介護をされている皆さん、自分自身の“心”と“からだ”のリフレッシュをしませんか。

■とき 平成27年3月20日(金) 9:00～17:30
■集合場所・時間 9:00 福祉センターさざれ石 9:15 国府支所
■行程 大磯～築地場外市場～すしざんまい奥の院～神田明神参拝～上野アメヤ横丁散策～大磯
※行程は天候等の都合で変更あり。

■募集定員 40人
■対象 町内に在住で65歳以上の高齢者等を在宅で介護されているご家族等。
※バスの乗降が可能な要介護者の同行も可。(トイレ付のバスです。車椅子貸出可。)
■参加費用 1人 3,000円(昼食・保険代を含む)
■申込期間 平成27年3月2日(月)まで
土日祝日を除く8:30～17:15
■問い合わせ・申込み 大磯町社会福祉協議会 電話(61)9390



＊編集後記＊

だいぶ寒さも身にしみる季節となりました。
毎度、しゃきょうおおいそをお手にとつていただいております。また平成25年も作成にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。
今年も、皆様にお読みいただける興味ある紙面づくりをがんばっていきたいと思っております。どうぞよろしく願います。